

(グローバル時代の教育に対応できる教員の育成)

1. 国際教育コースの設置

学校教育において、ますます国際化対応が求められる中であって、その養成を積極的に担おうとする大学・大学院は未だに少数である。ESDやグローバル・シティズンシップ教育、IB教育の手法による授業改善、外国人児童生徒への支援などを始め、国際教育を英語教育や国際交流などと狭く捉えるのではなく、どの学校でも、どの教科・領域でも実践可能な国際教育のあり方について学び、国際教育領域に強みや高い専門性を持つ教員の養成を目指す。

2. 履修イメージ

①「共通科目」での学び

「国際教育に関する領域」を独自に設定し、科目
「国際教育の理論と方法」を全院生に必修化

②「国際教育コース」必修科目での学び

- ・「開発教育プロジェクトの実践と課題」
- ・「グローバル・シティズンシップ教育の構想と課題」
- ・「IB教育の理論と実践」

③選択科目群での幅広い学び

- ・「外国人児童生徒支援論」
- ・「国際交流プログラムデザインの理論と方法」

《国際教育コース履修イメージ》

